

仙台まちづくり若者ラボ
最終発表会 (2021.1.14)

Hello New Sendai

ナナメの関係 ～世代を超えた交流～

Supporting Sendai
守るチーム

メンバ紹介 1/2

※五十音順



大槻 祐太(おおつき ゆうた)

(所属)宮城大学 事業構想学群

(出身)宮城県仙台市

(一言)就活が心配です。

(まちづくりラボの感想)

いろんな方々から様々なものの見方を教わった。新しい繋がり、視点を持つことが出来てとても有意義だった。

熊谷 流伽(くまがい りゅうが)

(所属)東北福祉大学 社会福祉学科

(出身)宮城県気仙沼市

(一言)サウナーです

(まちづくりラボの感想)

仙台の街や人にこれまで以上に興味を持てるきっかけとなるイベントになりました！仙台に暮らせてよかった！



竹澤 甲人(たけざわ かぶと)

(所属)リクルート

(出身)茨城県つくば市

(一言)転職3年目。仙台住み良し！

(まちづくりラボの感想)

様々な方とお話させていただき、非常に刺激的なワークでした。人・企業の地域での役割を捉え直すことででき、改めて考えさせられました。

メンバー紹介 2/2

※五十音順

長久保 光生 (ながくぼ ひかる)

(所属) 丸山運送

(出身) 福島県小野町

(一言) 今年の漢字は「示」

(まちづくりラボの感想)

仙台に来て5年が過ぎ、年々住みやすいと感じています。仙台、東北の魅力をもっと繋げて、広げていきたいと思います！



堀口 航 (ほりぐち わたる)

(所属) 東北大学経済学部

(出身) 神奈川県横浜市

(一言) 焼きそばが好きです。

(まちづくりラボの感想)

今まで関わってこなかった社会人の方々と関わることが出来てとても楽しかったです。

佐藤 茂 (さとう しげる) ※メンター

(所属) NTT東日本

(出身) 新潟県長岡市

(一言) 唐揚げづくりがマイブーム

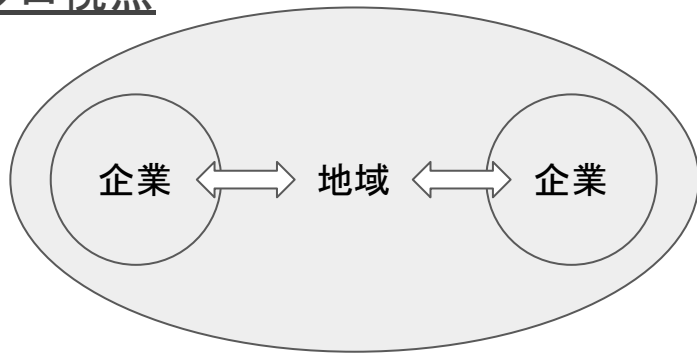
(まちづくりラボの感想)

街を知ることが街を好きになることに繋がると実感。仙台、最高です！



私たちが考える「守る」とは

■マクロ視点

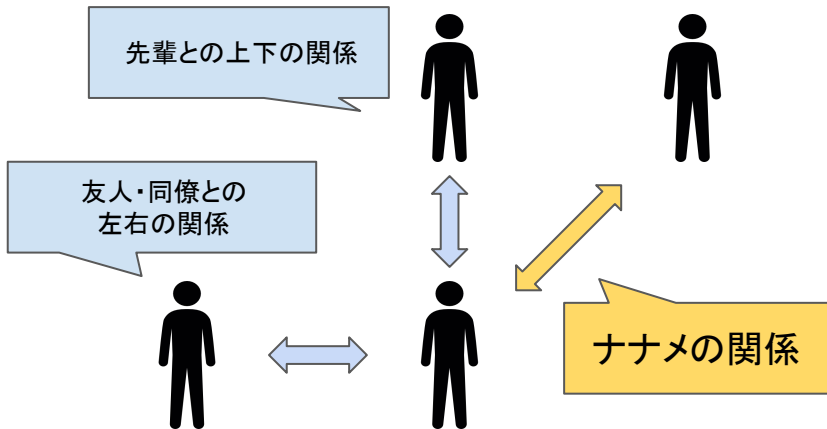


私たちが考える「守る」=「支え合う」です。
企業と地域、人と人との支え合いと解釈しました。

■マクロ視点

企業が経済や雇用という面で地域の人々の生活を守り、
逆に地域の人々が地元企業で経済活動に従事することにより
企業を守るという意味での支え合い。

■ミクロ視点



■ミクロ視点

人と人が社会生活による不安や悩みを相談し合うこと
で、個人がより生き生き活動できるコミュニティを作っていく
という意味での支え合い。

取り組み内容① ～丸山運送様インタビュー～



①インタビューの目的・背景

・なぜインタビューしたのか

→地域を守る、支えるという視点になったとき地元企業の役割は大きいのではないかと

・なぜ丸山運送なのか

→震災前から地域とのかかわりを大切にしてきた企業だったため

②主なインタビュー項目・回答内容

→地域と関わる理由:雇用を生み出す、経済を回す、地域を潤す

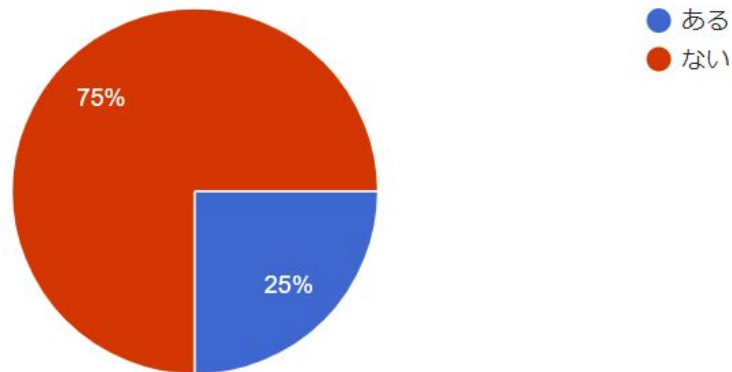
→今後について:「080ビジョン」があるように引き続き地域活性化に尽力

③インタビューによって得た気づき

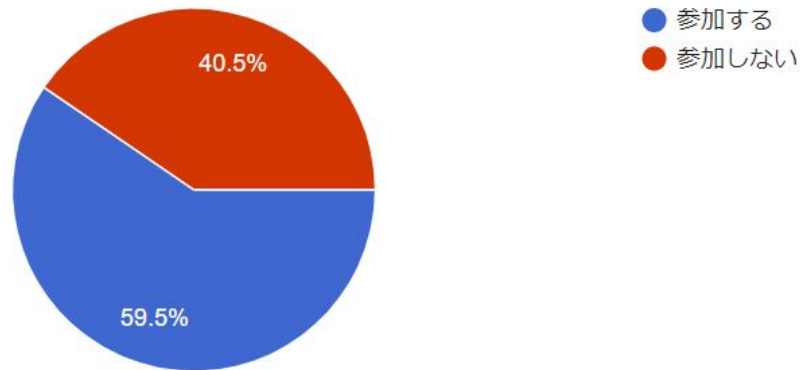
→震災を経て特に地域と企業とが支えあい共に成長する企業だということ

取り組み内容② ～市民アンケート～

Q世代別交流イベントに参加したことはありますか？



Q世代別交流イベントがあったら参加しますか？



①目的

仙台内での世代別の交流機会やその効果などについて仙台在住の方々に聞く

②アンケート項目・回答内容

- ・世代別交流イベントの参加経験の有無
→25%が参加経験あり
- ・世代別交流イベントへの参加意思
→半数以上が参加したい
- ・世代別交流イベントによる予想される効果
→人脈が広がる、視野が広がる

③気づいたこと

- ・参加経験はないがもしあったら参加したいという人は多い
- ・世代別の交流によって良い効果が生まれると感じている人が多い

取り組み内容③ ～オンラインイベント～



①概要

- ・1月6日20時～22時。
- ・Zoomを用いて学生と社会人(20～50代の各世代)が交流するイベント。
- ・グループ分けしてそこで自由な交流。

②目的・背景

- ・学生や社会人の交流を通してナナメの関係をつくる

③得たもの

- ・世代を超えた参加者の盛り上がり
- ・イベント後の繋がり
- ・運営の難しさ

これからの仙台のために具体的アクション

まちづくり若者ラボの経験を通して、

①今回参加してみて感じたこと、気づいたこと

- ・自分のなりたい姿が見つかった、価値観が変わった
- ・まずは運営する側が楽しむ！

②これから仙台という街とどのように関わっていくか

- ・世代問わず誰でも交流できるプラットフォーム

③そのために仙台市にしてもらいたいこと

- ・足を運んでもらうきっかけ作り